

10.4丹後に基地いらない！府民大集会・記念講演



沖縄と連帯し「オール京都」の声で米軍基地／を！

小泉 親司さん 安保破棄中央実行委員会・事務局次長

・2014年10月4日、京丹後市・宇川体育館で行われた『米軍基地いらない！10.4府民大集会』での小泉 親司さん（安保破棄中央実行委員会・事務局次長）の「記念講演（要旨）」をご紹介します。（文責・見出しは「府民の会」）

たくさんのお集まりのみなさん、ごくろうさまでございます。

ご紹介いただきました安保破棄中央実行委員会・事務局次長の小泉でございます。どうぞよろしくお願い致します。

いま、全国行脚をやっております。いつもこの京都は、これまですべて通り過ぎておりましたが、こんど133カ所目の米軍基地がこの京都に建設されるということでまいりました。今日は、京都の全府から、そしてお見受けするところ、大阪や他の県からも、たくさんの方がお集まりいただいて、この丹後に米軍基地はいらない、こういう声を上げられていると思います。どうかみなさん、がんばって基地を撤去させるため、がんばろうではありませんか。

米軍レーダー基地は、日本も、国民も守らない マッハ23、秒速8キロのミサイルは撃ち落とせない

記念講演と銘打ってありますので、三つの点だけお話しします。

まず、第一は、この米軍レーダー基地は、日本の防衛、国民を守る施設ではないということでありま



す。この施設は、逆に日本国民を軍事的緊張という危険に巻き込む以外の何ものでもないんだということを、どうかみなさんが多くの府民の方に伝えていただきたいと思います。

このレーダー施設がはじめて問題になったのは、実は1970年代であります。当時は、ニクソン政権、日本では田中角栄政権であります。ところが、あれから40年、いまだに、ミサイル防衛というのは確立されていないのです。未完成の技術なのです。なぜかといったら、米ソがお互いの核ミサイルをいっぱい持ってしまった。だから、戦争やっても、このミサイル防衛で撃ち落とすとしてしまおう。そうすれば、何とか自分の方は安全だ、ここではじまったのがミサイル防衛という考え方があります。

核ミサイルというのは、みなさん、スピードはマッハ23、どのくらいのスピードなのかというと、1秒間に8キロであります。秒速8キロのミサイルが飛んでくる。それを撃ち落とすなんていうのは、もう不可能というのが今の常識なのです。ある軍事専門家はなんといったか。このミサイル防衛というのは、5億円の宝くじに毎回5年間当たるに等しいということです。こういう、いかさまものをこの京都にレーダー基地として建設する。みなさん、これはとんでもないことじゃありませんか。ミサイル防衛であるというの

・発行：米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会（略称：米軍基地いらない京都府民の会）

連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階 京都総評内 京都共同センター気付 電話 075-801-2308 FAX 075-812-4149

であれば、核ミサイルを世界でいちばん保有しているアメリカが、イニシアティブを発揮して、周辺のミサイル国としっかり協議して、外交交渉によってミサイルを削減する、全廃する、このことが最もお金がかからなくて、最も早い方法だということをおみなさんに強く訴えたいのであります。

米軍基地そのものが、人権侵害・環境破壊

沖縄で明らか、米兵の少女暴行事件・わがもの顔で飛行するオスプレイ

二つ目の問題は、米軍基地は、米軍基地そのものが人権侵害であり、環境破壊だという点であります。

沖縄では1955年、「由美子ちゃん事件」というのが発生しました。小学校の6歳の由美子ちゃんが米兵にレイプされて、なんと切り刻まれて嘉手納基地のゴミ箱に捨てられていました。これは本当に痛ましい事件でありました。さらに、沖縄が返還されても、日米地位協定の下で、再び1995年に、今度は海兵隊の3名の隊員によって中学生がレイプされました。こういう痛ましい事件をくりかえしているのかというのが、今度のやはり米軍基地のひじょうに大きな問題だと思っています。

同時に、こういう事例ばかりじゃなくて、米軍基地そのものがいわゆる人権侵害である、環境破壊であるということです。このことを大いに、ぜひみなさんが大いに訴えていただきたいという点であります。

沖縄では、オスプレイという世界最悪の飛行機がわがもの顔で沖縄じゅうを飛び回っております。日米合意で、学校は飛ばない、病院の上は飛ばない、人口密集地は飛ばない、そういっておきながら、着いたその日から、学校、病院、人口密集地をわがもの顔で飛行する。こんな米軍の特権が、まだ、依然としてこの独立国日本にあるということなんで、私は、異常極まることだと思います。

宜野座村の泉さんという85歳のおじいさんがいます。どういうお家かという毎日、毎日オスプレイが自分の家の上空を飛んでいく。はじめは、昼間だからよかったけれど、今度は、夜に無灯火で飛んでくる。一つの塊が自分の家の上に落ちてくるという状況なのです。泉さんは、怒りに震えて毎日、毎日、日記に書いて、いつ飛んできたかと克明にされておりましたけれども、それじゃあダメだと、今度は自分の家に灯りをつけて、二階屋なんですけれども、二階も灯りをこうこうとつけて、「我、ここにあり」と「オスプレイ、やってくるならこい」そういうたかきを沖縄でも繰り広げられています。こういう形で、米軍基地そのものが、人権を侵害していることが起きています。



同時に、辺野古への新基地建設計画、これは、まさにジュゴンやあの「美ら海（ちゅらうみ）」を破壊して新しい基地を建設する。こんな環境破壊、みなさん許せるでしょうか。この丹後の宇川でも同じように、あの穴文殊を破壊して米軍基地を建設する。絶対、許せるわけがないじゃないですか。

「日米地位協定」で丹後にアメリカ国が「誕生」

刑務所でも特権 米兵には、ステーキ、さらにデザート、フルーツがつく

それから、さっきお話しがりましたが、米軍は「日米地位協定」によって特権が与えられています。レーダーを持ち込むのも秘密、何をあそこでやっているかも秘密、米軍はこの中で、全くの特権、日本の法律が及ばない、まさに、京都の丹後にアメリカ国が誕生したことと同じことなのです。

「日米地位協定」というのは、私は、この名前は呼ぶにふさわしくない。私は何と呼んでいるかという「米軍特権協定」と呼んでいるのです。

京都出身の井上さとしさんが国会で追及しましたが、実はレイプを起こした米兵は、どこに収容されるかという、神奈川県横須賀刑務所、一カ所だけ、米軍犯罪者の刑務所があるのです。ここの刑務所は、一般受刑者も、米軍受刑者も同じです。ところが違いがあるのです。どこが違うかという、一般受刑者は、いわゆる昔の麦メシであります。米兵は、「日米地位協定」の合意によってステーキが食べられる、

デザートもつく、フルーツもつく、冬は寒いから暖房もつく。これが、まさに「日米地位協定」での米軍の特権の実態なのです。塙の中でも、悪いことをした米兵に特権を与えられる、こんな米軍基地は、みなさん、作らせてはならないのではないのでしょうか。

異民族の支配である米軍基地という問題は、住民の貴重な財産である穴文殊を破壊する、ジュゴンの海を破壊します。米軍基地は、住民の暮らしと絶対に共存いたしません。だから、そのことを、ぜひみなさんが大いに京都中に、全国に訴えていただきたい。このことを私は、強くみなさんにお訴えしたいと思います。

8割の県民が反対 各地でひろがる「基地のない日本」をめざすたたかい 辺野古新基地は、移設でも、代替えでもない

三番目にお訴えしたいのは、いま、京都のみなさんばかりではなくて、沖縄でも、青森・三沢でも、山口・岩国でも、長崎・佐世保でも米軍基地はいらないというたたかいが、ひじょうに高揚しています。基地のない沖縄、基地のない日本をめざした国民のたたかいが起きているということ、ぜひ知っていただきたいということです。

沖縄では、ちょうど安倍内閣が集団的自衛権の行使容認を閣議決定した7月1日その日に、あの「美ら海（ちゅうらうみ）」の中に埋め立てするためのボーリング工事を強行いたしました。沖縄県民の8割がこれに反対しているのに、このボーリング調査を強行しました。しかも、まさに、民主主義破壊そのものだと思います。この中で多くの方が反対運動に立ち上がった。ところが、ここに押し寄せた海上保安庁の軍艦40隻、監視船30隻、まさに尖閣列島なんていうのも放り出して、米軍を守るために海上保安庁の船が集結したのです。

沖縄県民は、1944年の10月10日に『十空襲』というのがありまして、米軍による「鉄の暴風雨」という攻撃がありました。その時に米軍艦が沖縄にきましたけれども、それと同じようなことが今回行われたわけです。

同時に、防衛省は、米軍基地に立ち入らせないというので、「殺人鉄板」というのを作りまして、歩くと足をケガするというような鉄板を敷いて、反対運動を妨害しています。こういうことまでやって、いま、日本の政府は、安倍内閣は、民意を奪って民意に反して、これを強行しようとしているのです。

いま、この問題で多くの県民の方がひじょうに意気高くたたかっておられます。

今度の辺野古新基地計画というのは、多くの方が変だと思われてられるのは、辺野古が普天間基地の代替え、普天間基地の移設だと考えてられる方がけっこうあるのですけれども、これは、移設でも代替えでも何でもありません。海兵隊の最新鋭の基地を建設する計画です。



普天間基地には、滑走路は1本しかありませんが、今度の辺野古新基地計画は、1600^{平方}メートルの滑走路が2本。普天間基地は密集地でありまして、弾薬庫はありませんが、辺野古には核兵器を貯蔵していた弾薬庫があり、滑走路には弾薬装着場という施設が建設されます。

さらに、普天間には埠頭がありませんが、辺野古の新基地には、200^{トン}級の埠頭を建設いたします。普天間の移設ではなくて、普天間とまったく違う最新鋭の海兵隊の出撃基地を作る、これが計画であります。同時に重要な点は、これまでの沖縄の米軍基地という

は、銃剣とブルドーザで米軍がむりやり作った基地であります。今度の辺野古新基地というのは、どういう基地かということ、みなさんの税金で、日本政府が米軍のために作ってあげて、

「はい、どうぞ。海兵隊のみなさん、戦争のためにおつきあい下さい」こういう計画なのです。だから、多くの県民のみなさんが、こんな基地は絶対許されないと、8割の方が反対しているというのは理由があると思っています。

米軍基地いらない!の声を「オール京都」に

沖縄知事選 「オール沖縄」で、オナガさんの勝利を

ですから、いま、沖縄県民のみなさんが立ち上がって、11月16日の県知事選挙で何としても基地のない沖縄をつくる候補者、那覇市長のオナガ（翁長）雄志（たけし）さんを必ず県知事に送ろうということのでがなばっています。

オナガ雄志さんという那覇市長は、自民党の元県連幹事長であります。2010年の仲井真県知事選挙のときの選対責任者であります。この方が、いま何とっているか。「米軍基地は、沖縄経済にとっての最大の阻害要因である。沖縄の県民の誇りを絶対奪ってはならない。許してはならない」と。つまり、沖縄の新基地を「どうぞ」と差し出すような行為は、沖縄県民は絶対にしないんだ、そして、沖縄から日本を変えたいんだということを知事候補はたいへん強調しております。

いま、安倍内閣は、今度の新基地を負担軽減だなんていっていますが、まったく負担軽減ではありません。そういう意味で、大いに私たちは、このたたかいをすすめていく必要があるのではないかと思います。

いま、沖縄では、こういう県民の意志を踏みにじっての強行が続いていますが、京都のみなさんが沖縄のみなさんとしっかり連帯して、このたたかいを進めて行くことが、私は重要な点なんじゃないかと思っています。

私も実は、来週から沖縄でまた2ヶ月ぐらい暮らさなきゃならないのですが、沖縄のみなさんに、京都のみなさんの気迫をしっかりお届けしたいと思います。みなさんのこの大きなたたかいが、「オール沖縄」と同じように、この京都でも、米軍基地いらないという声を「オール京都」の声にしていこうじゃありませんか。そして、何としても米軍基地いらない、大いなるたたかいを、勝利に向かって大いに前進しようじゃありませんか。私も、みなさんといっしょにがんばりたいと思います。どうかよろしくをお願いします。



●次回、米軍基地被害者救援センター事務局・武市 菜穂子さんの特別報告を掲載します。